

解 答	1 (C)	2 (A)	3 (A)	4 (C)	5 (D)	6 (A)
	7 (D)	8 (B)	9 (B)	10 (A)	11 (C)	12 (B)
	13 (B)	14 (C)	15 (C)	16 (D)	17 (D)	18 (A)
	19 (D)	20 (A)				

1. 「私はスペイン語の文法について多くを理解しているが、話すこととなると、あまり得意ではない」

▶ 動詞speakが変化したもので選択肢が構成された「動詞の形」パターンです。このパターンでは空欄前後をチェックして、動詞の形を決定するキーワードを探していくのが基本的な解き方です。

▶ when it comes to doingで「～することになると」という意味なので、「to+動名詞」である(C)to speakingが正解になります。

when it comes to doing 「～することになると[関しては]」

I can use a computer, but *when it comes to repairing* them, I know nothing.

(私はコンピューターを使うことはできるが、修理するということになれば、何も分からない)

2. 「私の住んでいる通りの端っこに、有名なインド料理店がある」

▶ 前置詞パターンの問題です。本問では前置詞本来の意味から文意に最適なものを選びます。「the end of the road(通りの端)」という「場所の一点」を表すので、(A)atが正解になります。

■ 場所・時の一点を表すat

[場所の一点] Mike arrived **at** the theater.(マイクは劇場に着いた)

[時の一点] The meetings usually begin **at** ten.(会議はふつうは10時に始まる)

3. 「先月、越冬に向けて南へ渡る鳥の大群が見られた」

▶ 選択肢には2つの時制[現在(完了)/過去]と態[能動/受動]が混在しています。文頭のlast monthから時制は過去になります。(C)had(過去完了/能動態)を選んだ場合、seenの目的語がないので、受動態となる(A)was(過去/受動態)が正解になります。

4. 「あなたの住所を教えてくださいませんか？」

▶ 選択肢には動詞tellの変化した形が並んでいます。本問では空欄前の他動詞mindが動名詞だけを目的語にとるので(C)telling(動名詞)が正解になります。

mind doing 「～するのを気にする/嫌がる」

Would[Do] you mind doing? 「～していただけますか」

動名詞だけを目的語にとる動詞	
<input type="checkbox"/> mind 「～するのを気にする」	<input type="checkbox"/> miss 「～しそこなう」
<input type="checkbox"/> enjoy 「～するのを楽しむ」	<input type="checkbox"/> give up 「～するのをやめる」
<input type="checkbox"/> admit 「～するのを認める」	<input type="checkbox"/> finish 「～するのを終える」
<input type="checkbox"/> escape 「～するのを逃れる」	<input type="checkbox"/> postpone 「～するのを延期する」
<input type="checkbox"/> stop 「～するのをやめる」	<input type="checkbox"/> deny 「～しないと言う」
<input type="checkbox"/> evade 「～するのを避ける」	<input type="checkbox"/> consider 「～することを考える」
<input type="checkbox"/> avoid 「～するのを避ける」	<input type="checkbox"/> imagine 「～することを想像する」

5. 「キャシーは昨日、仕事の面接に行くべきだったのだが、そのことを忘れていた」

▶ 選択肢には動詞goに関して「(助動詞)+(現在/過去)完了形」の形が並んでいます。『助動詞+have+過去分詞』の表現は、過去のことに関する現時点での推量や、過去の行為に対する非難や後悔を表しますので、文意から最適なものを選ぶ方針で解きます。

▶ 訳を当てはめてみると、「キャシーは昨日、仕事の面接に(A)行かなかつた (B)行つてしまつた (C)行つたはずがない (D)行くべきだったのに。しかし、彼女はそのこと(就職の面接があること)を忘れていた」となり、(D)should have goneが正解になります。

□ **should[ought] have done** 「～すべきだったのに[非難・後悔]/～したはずだ[推量]

You **should[ought to] have got up** at seven.

(あなたは7時におきるべきだったのに[非難・後悔])

The game **should[ought to] have started** at noon.

(正午にはその試合は始まっていたはずだ[推量])

6. 「サラはどこにいるのかしら。私とここ東京駅で会うため、何時間も前に家を出たのだから、もう着いているはずなのに」

- ▶ 第5問に続いて動詞arriveの時制変化に助動詞が絡む問題です。助動詞は話し手の主観的な判断を表すので、文脈に合ったものを選ぶ方針で解きます。
- ▶ 訳を当てはめると「サラはどこにいるのかしら。私とここ東京駅で会うため、何時間も前に家を出たのだから、もう(A)着いているはずなのに(B)着くだろう(C)着いてしまった(D)着くかもしれない」となり、(A)should have arrivedが正解になります。

7. 「それでは、休憩は終わりです。さあ、始めましょう」

- ▶ 選択肢には動詞startのさまざまな形が並んでいます。空欄前にgetがあることから除外される(A)startを除いて、残りはすべて文法的に選択可能です。本問では、会話表現であることから、「始めましょう」という意味になる(D)startedが正解になります。

【参考】「get+過去分詞」——getを使った受動態

[例] My glasses **got broken** while I was playing soccer.

(サッカーをしていた時に、私のメガネが壊れた)

受動態を作るのに、**be**動詞の代わりに**get**を使うことがあります。getを使うのは、「～になった」のように**変化**を表す場合です。

8. 「彼女が昼食から戻り次第、パーカー女史はある会議に行く必要があります」

- ▶ 選択肢には動詞comeを時制変化させたものが並んでいます。本問では、問題文中に時制を決定するヒントを探す方針で解いていきます。
- ▶ 文頭のAs soon asは「～するとすぐに」という意味の接続詞で、**時を表す副詞節**を作ります。このような節では**現在形**を用いるので正解は(B)comesになります。

■ 時や条件を表す接続詞の後で用いる現在形

(1)The bird will fly south **when winter comes**.

(冬が来ると、その鳥は南へ飛んでいくだろう)

「時」を表す接続詞…when, before, after, until, by the time, as soon asなど

(2)**If it is fine tomorrow**, let's go swimming.(明日晴れたら、泳ぎに行こうよ)

「条件」を表す接続詞…if(もし～ならば), unless(～しない限り)など

9. 「雨が降ろうと、そうでなくても、私は今週末キャンプに行くつもりです」

- ▶ 選択肢はすべて接続詞ですので、文意に最もふさわしい意味をもつものを選びましょう。ちょっと迷ってしまいませんか？
- ▶ 本問では「() it rains or not」の**or**に着目できるかが時短のカギになります。選択肢のうち、(B)whetherはorとの組み合わせで、whether A or B「AであろうとBであろうと」という譲歩の副詞節を導くので、これが正解になります。

10. 「今日、テニスチームのキャプテンを選ぶと知っていたなら、ミーティングに遅刻しなかったのに」

- ▶ 選択肢は助動詞(had,should)と接続詞(whether,if)で構成されています。これらは文頭に置かれて疑問文を作ったり、節を導いたりします。
- ▶ () I **known**...のknownが過去分詞であることから、文法的に成立しない(B)whether、(C)Should、(D)ifは除外されます。(A)Hadを入れれば、ifを省略した仮定法過去完了の条件節となるので、これが正解となります。

11. 「私にヘビの話題で話しかけないで。ヘビの写真を見ることすら考えるのも我慢できないわ」

- ▶ 選択肢はすべて異なる意味の他動詞で、目的語は一つ(the thought of looking at a

picture of one)なので、文意に最適なものを選ぶ方針で解きます。空欄前のcan'tと合わせて「～を我慢できない」という意味になる(C)standが正解になります。

can't stand A 「Aを我慢できない」

I can't stand this hot weather.

(この暑い天気には我慢できない)

12. 「いくつかの社会風習では、紹介されてすぐ、相手の職業を尋ねることは失礼とみなされます」

▶ 選択肢には「(…を)～とみなす」という意味をもつ他動詞ばかりです。このような問題では文意に当てはまる意味をもつ単語を選ぼうとせず、文法や語法の知識で選択肢を絞っていきましょう。

▶ 問題文の後半、it is () rude to ask what their job is.のitは形式主語で、主語はto ask what their job is(彼らの仕事は何かを尋ねること)です。この文を能動態で書き直すと、次のようになります。

[能動態に書き換える] They () it(=to ask what their job is) rude.

この文ではit=rudeの関係が成り立っているので、空欄に入る語はSVOCの語法をもつ動詞であると推測できます。consider A Bで「AをBとみなす」という意味になるので正解は、(B)consideredになります。

regard A as B 「AをBとみなす」

⇒この場合は、it is regarded as rude to ask what their job is.となります。

feel A to be B 「AをBだと思う」

assume A to be B 「AをBだとみなす」

13. 「新しいベルトを買わなくちゃ。この古いのではズボンを保てません」

▶ 選択肢は「基本動詞+up」の句(群)動詞が並んでいます。句動詞の問題は文脈で解きましょう。

▶ 訳を当てはめると、「新しいベルトを買わなくちゃ。この古いのではズボンを[(A)take up「取り上げ」(B)hold up「持ち上げ」(C)pull up「引き上げ」(D)push up「押し上げ」]ません」となります。副詞upが「上方へ」という意味を表すので迷うところですが、「保つ」という語義をもつ(B)hold upが正解になります。

14. 「面接はうまくいったので、職を得られる見込みはかなり現実的であると考えています」

▶ 選択肢は(B)expect(～予期する)を除き、名詞が並んでいます。空欄の語はa very realで修飾されているので、名詞が入ると推測できます。

▶ 選択肢の名詞はそれぞれ、(A)effect「結果/影響」、(C)prospect「見込み/期待」、(D)aspect「局面/外観」という意味です。「私が仕事を得る()」にふさわしいのは(C)prospect(見込み)です。

15. 「新しいショッピングセンターはその町に経済的発展をもたらすだろう」

▶ 選択肢が「bring+前置詞[副詞]」で構成されている句動詞の問題です。空欄のあとに来ている目的語がeconomic growth(経済的成長)であることから、(C)bring about(～をもたらす)が正解になります。

bring A into B 「AをBの状態にする」

bringを含む句動詞

bring A over 「Aを(遠方より)持って来る」

bring up A 「Aを育てる」

bring A along 「Aを(～へ)持って来る」

bring on A 「A(災いなど)をもたらす」

bring about A 「Aをもたらす/引き起こす」

bring A to 「A(人)を正気づかせる」

bring out A 「A(本)を出版する/A(製品)を発表する/A(特徴など)を引き出す」

16. 「村上春樹の著作は多くの外国語に翻訳されてきました」

▶ 選択肢には接頭辞「trans-」で始まる動詞(受動態)が並んでいます。接頭辞transには「越えて/横切って/完全に/別の状態[場所]へ」などの意味がありますが、この知識がなくても本問は解答できます。

▶ 受動態が絡む問題では能動態に直して考えると分かりやすいので、問題文を能動

態に書き換えてみます。

[能動態] We have () Haruki Murakami's book into many foreign language.
「村上春樹の著作を外国語に翻訳してきた」とするのが自然なので、(D)translated (～を翻訳する)が正解になります。その他の選択肢は(A)transfer「～移動させる」、(B)transmit「～を送信する」(C)transform「～を変形させる」という意味です。

□ **translate A from B into C** 「A(文章など)をB(言語)からC(言語)に翻訳する」

He translated the novel from English into Japanese.

(彼は英語の小説を日本語に翻訳した)

17. 「トニーは弟とよく似ている。彼らは瓜ふたつだ」

- ▶ 選択肢には「～のように見える/思える」という意味をもつ動詞が並んでいます。類似語が多い時は文法/語法の知識で解法の糸口を探しましょう。
- ▶ 選択肢(A)(B)(C)は自動詞、(D)resemble(～に似ている)は他動詞です。空欄後のhis brotherが補語であるとする、Tony=his brotherという関係になるはずですが、これは明らかに不合理です。よって、his brotherはresembleの目的語であると推論できます。正解は(D)resembleになります。なお、(C)looksは「looks like」ならばresembleと同意となります。

□ **resemble A** 「Aに似ている」 (=look like A, take after A)

■ 第2文型：SVC(主語+動詞+補語)

The movie was funny. (その映画は面白かった) ⇨ その映画(S)=面白い(C)
主語 動詞 補語

動詞の後で主語(S)について説明する語のことを補語(C)と呼びます[主格補語]。補語として使うことができるのは形容詞か名詞です。第2文型では、S=Cの関係が成り立つのが特徴です。

18. 「ジェニファーは学業に専念するため、アルバイトを辞めた」

- ▶ 空欄のあとが「前置詞on+名詞」の形なので、前置詞onにつながる語法を持つ自動詞がないか検討してみます。すると、(A)concentrate on A「Aに専念する、注意を集中する」と(C)work on A「Aに取り組む」の2つが候補に挙がります。あとは問題文の文脈に照らし合わせて、「アルバイトを辞めて、学業に専念する」という意味に

なる(A)concentrateを選びます。

□ **concentrate on A** 「Aに専念する、注意を集中する」

Please don't interrupt while I'm concentrating on my work.

(仕事に集中している時に邪魔しないでください)

19. 「新居の住み心地はどう？もう落ち着きましたか？」

- ▶ 選択肢は「動詞+in」という形になっています。このinはあとに目的語がないので副詞と考えることができ、空欄には自動詞が入ると推測できます。
- ▶ 選択肢の中でinが副詞の働きをしているものは(D)settle in「(新居・環境などに)落ち着く、慣れる」のみです。文意からも最適なのでこれが正解になります。(C)lived inを選んだ場合、inの目的語がないばかりか、「住んでいましたか？」という意味になってしまいます。

20. 「ジムはとて素晴らしい人です。彼は、誰にとっても良き夫になるでしょう」

- ▶ 選択肢がすべて基本動詞であるので、単純に単語の意味を問われているのではないと分かります。文意から、空欄後のa good husbandは主格補語(he=a good husbandという関係が成り立ちます)と推測できますので、空欄の語はSVCの語法をもつ動詞です。選択肢中でSVCの語法をもつものは(A)make「～になる」と(D)go「～の状態になる」の2つですが、goの補語は形容詞/過去分詞のみなので不適です。よって、正解は(A)makeとなります。

□ **make+補語** 「～に(ふさわしく)なる」

He will make a fine teacher.

(彼は立派な先生になるだろう)